



**アーカイヴ**  
第7回はアーツ前橋のアーカイヴについて紹介します。  
アーカイヴは、アーツ前橋1階の総合案内横に併設されている図書資料閲覧スペース。ここではアーツ前橋が収集・保管している芸術文化に関する和洋書や展覧会図録、雑誌などを閲覧することができます。

## アーツ前橋探検

vol.7



できます。美術作品だけではなく、関連する図書資料を併せて収集・公開することで、アーツ前橋の調査や研究に活用するほか、アーツに関心を持つ人を増やしたいと思っています。

また、図書資料とともに、他館の展覧会やイベントで発行されたエフェメラと呼ばれるチラシや、芸術文化関係の新聞記事のスクラップなども、サポーターの協力のもと整理して配架していきます。

こうした情報は、通常イベントが終了するとなかなか後には残らないもの。その度に収集保管することで、全国、そして前橋で現在起こっている芸術文化活動の情報を幅広く知り、未来に伝えていくことができます。

アーカイヴは、随時資料を追加し、これから成長していきます。資料の貸し出しや複写サービスは行っていませんが、フリースポットWiFiを設置し、どなたでも無料で利用できます。気軽に立ち寄って、アーカイヴの資料を通してアーツに触れてください。

問い合わせは  
アーツ前橋 ☎027-2300-1144



一人親支援に長きに渡り尽力

中村 百合子さん 76歳  
河原浜町

## 一人で抱え込まずに相談して

母子家庭や寡婦など一人親の人たちが、地域で安心して生活できるように、楽しいイベントや講習会の開催、相談業務などに長年携わっている中村さん。市母子寡婦会の会長に就任してから、3年半が経過した。

「イベントをとおして会員同士の親睦を深めたり、いろいろな相談に乗り不安の解消に努めたりしています。また、若いお母さんが就労できるための支援にも力を注いでいます」

会長として会員をまとめるほか、団体の事務も多くこなしている。10月19日と20日に県内で開催される全国母子寡婦福祉大会参加に向けての準備など、ことは特に忙しいという。  
「大会は全国から多くの仲間が集まっ

て来ます。おもてなしの精神でお迎えし、楽しい思い出を残してお帰りいただきたいですね」

中村さんは53歳の時夫を亡くし、夫婦で分担していた家事などを全て一人で行うことに。また、周囲の何気ない一言に傷ついたこともあるなど苦勞が絶えなかったが、趣味を持ったことが、強く生きるきっかけになったという。

「深く落ち込んだこともありましたが、50代になって始めた日本舞踊が悲しみをなくすのに役立ちました。何か一つ自分に合った趣味を持つてください。生きる力になりますよ」

一人親家庭が年々増加している現在、これからも活動を継続し、多くの一人親家庭の支えになってもらいたい。



## ころんと一緒に交通安全

秋の全国交通安全運動初日の9月21日、前橋こども公園で交通安全教室を開催。大型カルタを使った交通安全クイズや腹話術などを実施しました。一日警察署長に任命された「ころん」もお手伝い。集まった子どもたちは楽しく交通ルールを学びました。



## 兼重助監督が撮影秘話を披露

ユナイテッド・シネマ前橋で9月26日、本市で撮影が行われ、カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞した映画「そして父になる」の先行上映会とトークショーを開催。本市出身の助監督・兼重淳さんが登壇すると、会場から温かい拍手と声援が送られました。



## 幾度の坂と限界を超えて

まえばし赤城山ヒルクライム大会を9月29日に開催しました。標高差1,313級の難関コースを、全国から集まった約3,000人が自転車で疾走。選手たちは自分の限界に挑戦しながら、赤城山の頂を目指しました。



## パスポートの申請が身近に

10月1日、市パスポートセンターを、市役所1階ロビーに開設しました。申請から交付までの期間が、今までより1日短縮。対象は本市に住居登録している人と、本市以外の住民登録者で本市に通勤・通学などを行っている人です。